



間伐材、未利用材の持続的な循環利用

さすてなベンチ

『さすてなベンチ』は大量の間伐材を使い、最後は土にかえすという持続的な循環サイクルを実現、SDGsの達成にもつながります。



※尚、この製品は西川バウム合同会社様から製品情報を提供頂いております。

間伐材、未利用材の持続的な循環利用のしくみ

①伐採～間伐材～製材

間伐材を角材に製材。無垢の素材を活かした『さすてなベンチ』に

②「さすてなベンチ」を街中に設置

公共機関をはじめ、公園、バス停、大型商業施設や商店街などに設置

③基本はレンタル利用。半年ごとに座面の角材を交換

レンタル利用が基本で、半年ごとに座面の角材を交換

④半年ごとに座面の角材を回収して二次利用する

使用例：ウッドデッキ・フェンス・ウッドブロック・生活用品・木小物・チップ・薪etc.

⑤自然(土)にかえす

無垢のままだから可能に

⑥新しい苗木を植え、森を守り育てる



ユアサ木材株式会社



『さすてなベンチ』はやさしい

地球にやさしい

- ・木材にCO2を吸収し固定化
- ・使用する木材は無塗装



人にやさしい

- ・人の心を和ませる自然な木のかおり
- ・天然の木の肌ざわりやぬくもり



株式会社岩岳リゾート様納品

森にやさしい

- ・使われていない間伐材
- ・森林の循環を促進し、山の健全化に貢献

地域にやさしい

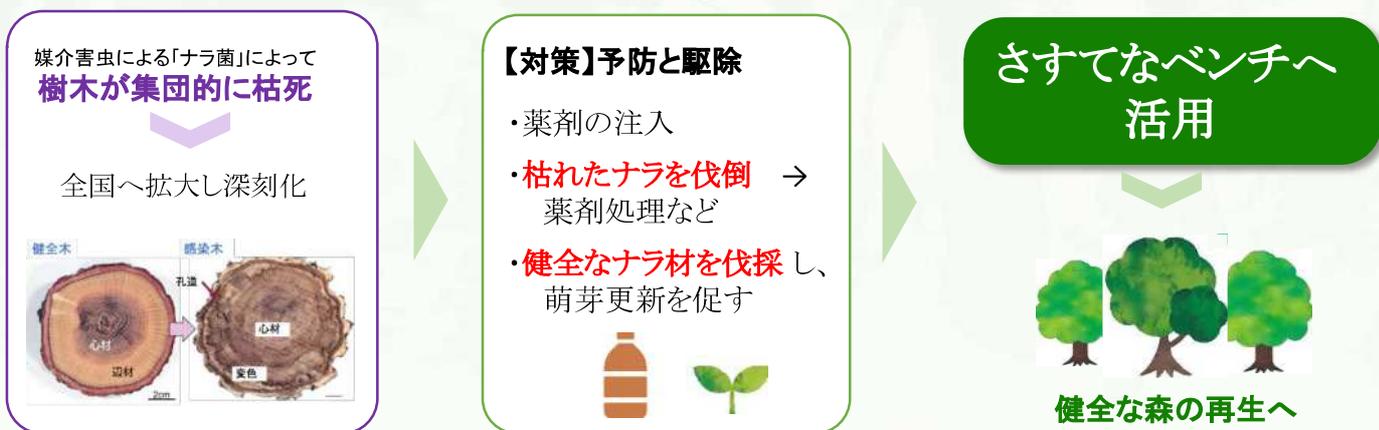
- ・設置など、高齢者の雇用機会の創出
- ・コミュニケーションの輪を広げる



ナラ枯れ問題への取り組みと、さすてなベンチ

ナラ枯れ問題とは、カシノナガキクイムシが媒介する「ナラ菌」によって **樹木が集団的に枯死する深刻な問題** で、令和5(2023)年度には44都道府県で被害が確認され、被害量は高水準で推移し、全国に拡大しています。対策の一つとして被害木の伐採が進められていますが、その木材の **有効活用が課題** となっています。

『さすてなベンチ』は、この問題となっているナラ枯れ被害木を積極的に活用し、未利用の間伐材と共に、持続可能な循環サイクルに乗せることで、**森林の再生とSDGs達成に貢献** します。



■問い合わせ先■

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1丁目8番地 OPEビル3F



ユアサ木材株式会社

TEL 03-6369-1391

